

工芸コース

工芸科入試で重視される「観察力」と「素材を扱う技術」の土台を、デッサン・平面・立体の三要素から総合的に学ぶコースです。

「工芸で学ぶべきことは？」という疑問に対し、質感の描き分けや空間構成のポイントなど、各課題の要点を丁寧に解説します。前期は描写と色彩、後期は描写と立体表現に重点を置き、工芸ならではの多角的な実技力を養います。

モチーフの徹底的な観察を通じて、自分の強みを伸ばし、課題を一つずつクリアしていくことで、これからの一年の確かな指針をつくります。前期・後期と続けて受講し、実技の全体像を掴むことをお勧めします。

※入試動向により授業内容が変更となる場合があります。

<対応大学>

東京芸術大学、金沢美術工芸大学、多摩美術大学

		工芸コース	
前期		KGA	10:00-17:00（6 h） 5日間 ￥39,000
	3/26（木）	鉛筆写生（木炭紙大白象紙水張り）	
	3/27（金）		
	3/28（土）	平面表現（B 3 画用紙水張り）	
	3/29（日）		
	3/30（月）	立体表現（水粘土）	
3/31（火）			
後期		KGB	10:00-17:00（6 h） 5日間 ￥39,000
	4/1（水）	鉛筆写生（木炭紙大白象紙水張り）	
	4/2（木）		
	4/3（金）	平面表現（B 3 画用紙水張り）	
	4/4（土）	立体表現（水粘土）	
	4/5（日）		